

2025
広島大学
オープン
キャンパス

教科書で見たことある!

広島大学図書館 とっておきセレクション

✓ 展示資料のご紹介

広島大学図書館が所蔵する貴重な古典籍資料から、教科書で見聞したことがある作品をピックアップしてご紹介します。

✓ 2025年8月7日(木)～8日(金)

広島大学中央図書館

伊勢物語

在原業平に擬した主人公
の初冠から亡くなるまでを

流麗な和文と和歌を盛り込んで描いた平安時代の歌物語。
連れ出した女を鬼に一口で食われる芥川の章段や、筒井筒
で遊んだ幼馴染との恋の章段などが有名です。
(奈良絵本)



すゝめの夕かほ

『宇治拾遺物語』巻三の
16「雀報恩事」を奈良絵
本にしたもの。前段が善
因善果、後段が悪因悪果
の話という対照をなす
「腰折れ雀」という物語
で、よく知られるおとぎ
話「舌切雀」はその類
話。広島大学蔵本は、国
内で現存する唯一の伝本
です。



奈良絵本

奈良絵本とは、主に室町時代後期から江戸時代中期にかけて作られた絵入りの写本です。金箔なども施した美しいものが多く、嫁入り本とも呼ばれます。当館でもいくつかの貴重な奈良絵本を所有しており、デジタルデータで翻刻や解説とともに閲覧することができます。

広島大学図書館
デジタルアーカイブ



レオナルド・ダヴィンチ「フランス学士院蔵パリ手稿」(複製)

ダヴィンチが30歳前から最晩年にいたるまでの、読書、観察、実験、研究などから得たものを克明に記録したものの。その内容は、美術の諸分野、自然科学、機械、土木、軍事など多岐にわたり、現在、その多くの部分が散失し、全体の5分の1程度にあたる約5000葉がヨーロッパ各地に分散所蔵されています。

この「パリ手稿」は、1796年にナポレオンによってミラノのアンブロジアーナ図書館からフランスに移されたものであり、フランス学士院に所蔵されています。日本版(複製)は1995年に岩波書店から刊行されたものです。



このヘリコプターの図案が、かつてANA(全日空)のマークとして使われていました。これは昭和時代の機体の尾翼です。



植物学雑誌 The Botanical Magazine or, Flower-Garden Displayed



Hibiscus Rosa Sinensis
(ハイビスカス) v.5 plate158

この雑誌に掲載された美しい植物の多くは、彼らの苦難の道りによって海外からもたらされたもののなのです。

植物学者ウィリアム・カーティス(1746-1799)が、1787年にロンドンで発行を始めた外来種の植物に関する雑誌。彩色された美しい図版付きの最も古い植物学雑誌として知られており、当館では1848年までの原本を保存しています。なお、雑誌はカーティスの死後も変遷を経て現在まで発行され続けています。

大航海時代のヨーロッパでは、未知の植物を探し出し持ち帰ることを目的に採集する植物の専門家「プラントハンター」が活躍しました。英国王立キュー植物園から派遣された最初の公式プラントハンターであるフランシス・マッソン(1741-1805)は多くの功績を遺しましたが、海外採集の旅は、他国軍に捕まり海賊に襲われる厳しいもので、最期は採集先で病死したとも凍死したともいわれています。



Lilium Japonicum (ササユリ)
v.38 plate1591

Take Free

ポストカード
をどうぞ



福澤諭吉「学問のすゝめ」

初編は、明治4年(1871)に福澤諭吉(1835-1901)と小幡篤次郎により慶應義塾から出版。二編からは福澤諭吉単独で出版され、明治9年(1876)11月に出版した十七編で締めくくられました。

全編平易な文章で簡潔にまとめられているため、出版当時大ベストセラーとなり、小学校の教科書としても用いられました。その後現在まで様々な版が出されて、原文が読み継がれているだけでなく現代語訳も出版されています。初編は「天は人の上に人を作らず、人の下に人を作らず」という、天賦の人権について書き起こした有名な文章で始まります。

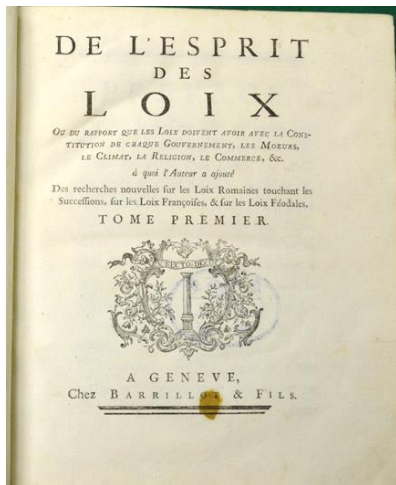
教科書コレクション

当館では、江戸時代の寺子屋で使われた往来物から現代までの、初等教育から高等教育までの教科書を体系的に所蔵しており、うち、第二次世界大戦直後までの約4,400点を「教科書コレクション」としてデジタルデータで公開しています。上記の「学問のすゝめ」もその一つです。

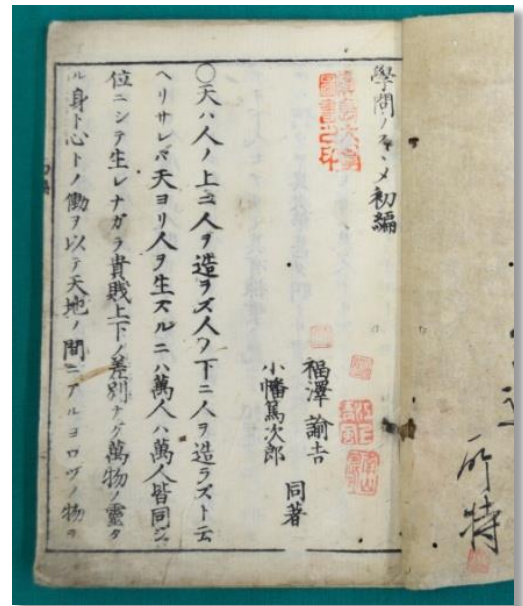


広島大学図書館
デジタルアーカイブ
教科書コレクション

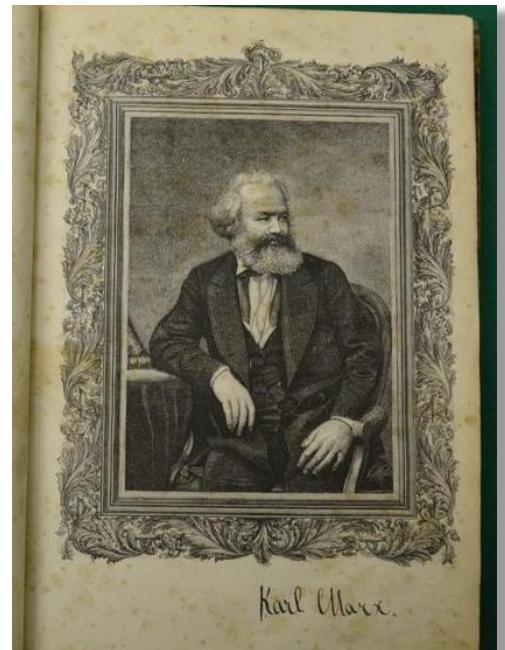
モンテスキュー「法の本質」



初版 全2巻(1748)
18世紀フランス絶対王政の衰退期に現れた、啓蒙思想家の不朽の名著。権力を分散させるとともに、分散された各権力による相互監視体制を提案、この考えは今日でも立法、行政、司法による「三権分立」をはじめ、各国の憲法において広く受け入れられています。



マルクス「資本論」



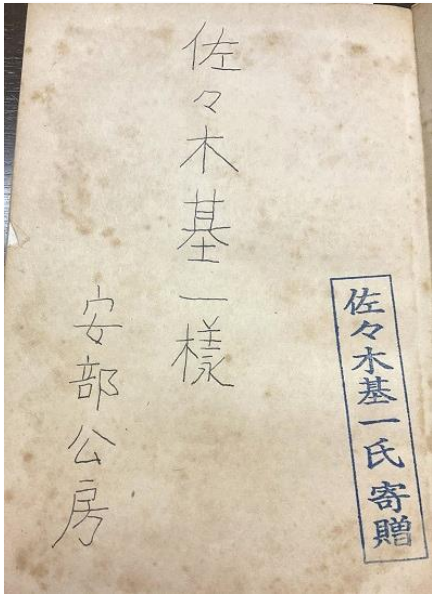
初版(仏語版)第1巻(1865-1867)
資本主義経済の歴史的特殊性と運動法則を科学的かつ徹底的に解明して19世紀後半以降の社会主義運動に圧倒的な影響を与え、またそれ以後の経済学・社会科学の研究にとって最も重要な道標となった記念碑的文献です。仏語版「資本論」第1巻初版は、独語第2版の仏語訳。

佐々木基一記念文庫

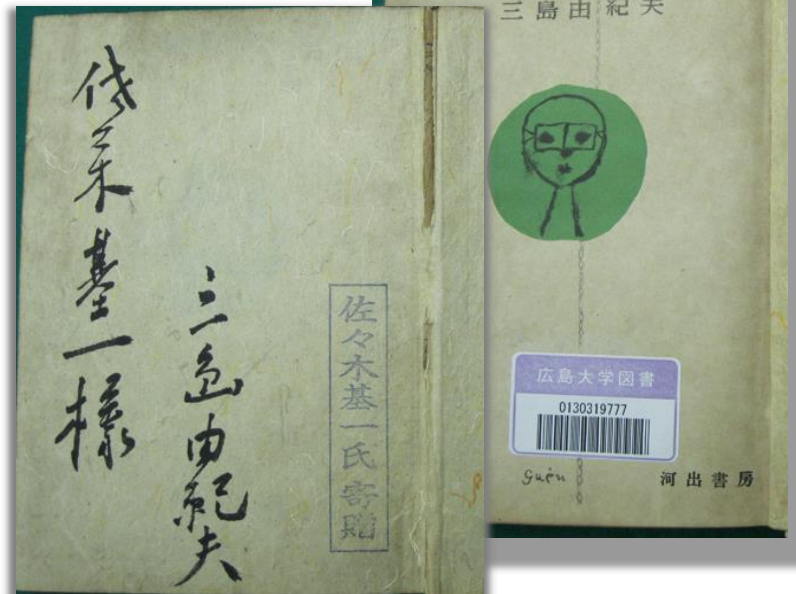
広島市生まれの作家・文芸評論家の佐々木基一氏旧蔵資料です。
佐々木基一氏（本名：永井善次郎 1914-1993）は、東京帝国大学美学科卒業後、「映画評論」や大井広介らの「現代文学」、埴谷雄高らの「構想」同人となり、1946年に埴谷雄高、本多秋五らと雑誌「近代文学」を創刊。以後も中央大学に勤務しながら文芸活動を行いました。この記念文庫は、佐々木基一氏の著作や句帳で構成されています。なかでも、三島由紀夫「仮面の告白」、安部公房「無名詩集」、井上靖「蒼き狼」等、主要な戦後作家の署名入り献呈本等を多数含んでいることが特徴的で、戦後文学の貴重なコレクションとなっています。



安部公房「壁」



三島由紀夫「仮面の告白」



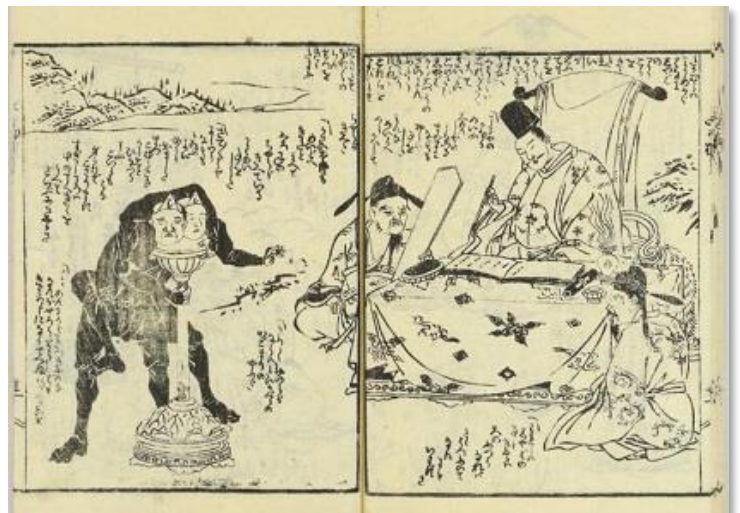
（番外編）薦屋重三郎

薦屋重三郎（薦重）は、江戸時代中期の版元（出版社）です。2025年には大河ドラマ「べらぼう～薦重栄華乃夢噺～」のモデルにもなりました。広島大学では、薦重の刊本「うつら衣」「三教色」「古契三娼」「三教色」「悪七變目景清」「御茶漬十二因縁」「家内手本用心蔵」「か祢のなる木」「冠言葉七ツ目」「がんとり帳」「大通天王」「鼻下長生薬」「小野篁地獄往来」など21点を所蔵しています。



←版元印

本のどこにあるのか
レプリカで探してみましょう



「小野篁地獄往来」

刊本/全1冊/著：山東京伝・北尾政演画/
地獄を行き来した小野篁のお話です